

令和3年7月17日(土)

13:00～17:00 開場 12:00 開会 13:00

会場

鹿児島県歴史・美術センター黎明館2階講堂
鹿児島市城山町7番2号 TEL:099-222-5100

定員

245名 予定

新型コロナウイルス感染症の拡大状況により
定員数を変更する場合があります。

事前申込制

入場無料

座席指定

※駐車場に限りがありますので、会場へは公共交通機関をご利用ください。

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、開催を延期または中止する場合がございます。
あらかじめご了承ください。

PROGRAM

12:00 開場

13:00 開会 主催者あいさつ【鹿児島県知事 塩田 康一】

基調講演

世界を見つめた
薩摩と佐賀

岩下 哲典 氏

東洋大学文学部史学科・
大学院文学研究科史学専攻 教授



幕末の
佐賀藩と薩摩藩

川副 義敦 氏

武雄市図書館・歴史資料館
歴史資料係専門官



パネルディスカッション

グローバルな視点で
明治維新の原動力となった
薩摩藩と佐賀藩の開明性から
我々は何を学ぶか

パネリスト

岩下 哲典 氏

パネリスト

川副 義敦 氏



コーディネーター

吉満 庄司 氏

県立開陽高等学校
通信制課程 教頭

パネリスト

原口 泉 氏

志学館大学
人間関係学部 教授・法学部 教授



パネリスト

松尾 千歳 氏

尚古集成館 館長



パネリスト

大園 隆二郎 氏

佐賀藩政史研究家

プレゼント抽選会 鹿児島・佐賀の特産品を抽選でプレゼント!

17:00 閉会予定

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、内容が変更となる場合がございます。

2023 志 2024
KAGSAG
KAGOSHIMA-SAGA
パートナーシッププロジェクト

鹿児島・佐賀エールプロジェクト
歴史シンポジウム
近代化を推進した、薩摩と佐賀の先見性

薩摩藩と佐賀藩は常に海外に目を向けており、
幕末には他藩に先駆けて近代化施策を推進しました。
1967年のバリ万博に出展したのも、
幕府以外にはこの両藩のみでした。
こうした蓄積を踏まえ、両藩は明治維新において
様々な分野で重要な役割を果たしました。
鹿児島県と佐賀県の歩んできた歴史も一緒に学び、
これを契機に両県のこれからの未来について考えてみましょう。

Kagoshima Citizen's Day

7月14日は
県民の日

主催/鹿児島県 共催/佐賀県

令和3年7月17日(土)

13:00~17:00 開場12:00 開会13:00

会場 鹿児島県歴史・美術センター黎明館2階講堂
 鹿児島市城山町7番2号 TEL:099-222-5100

定員 245名予定
 新型コロナウイルス感染症の拡大状況により定員数を変更する場合があります。

事前申込制

入場無料

座席指定

※駐車場に限りがありますので、会場へは公共交通機関をご利用ください。
 ※新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、開催を延期または中止する場合がございます。あらかじめご了承ください。

参加には
 事前の
 お申し込みが
 必要です

往復ハガキまたはインターネットから
 下記の要領でお申し込みください。
 応募多数の場合は抽選となります。
 抽選結果は7月上旬に返信用ハガキ
 またはメールにてお知らせいたします。

申込期限

令和3年7月2日(金) 当日消印有効

申込先・
 お問い合わせ

〒890-0055 鹿児島市上荒田町22-3 育英ビル4階
 「鹿児島・佐賀エールプロジェクト 歴史シンポジウム」事務局
 [(株)KCR内]
 TEL:099-206-8100 [午前10時~午後5時(土日祝を除く)]

往復ハガキの場合 申し込みは2名まで

<p>郵便はがき 63 8900055 「鹿児島・佐賀エールプロジェクト 歴史シンポジウム」事務局 鹿児島市上荒田町22-3 育英ビル4階(株)KCR内</p> <p>往信【表】</p>	<p>記入しないで ください</p> <p>返信【裏】</p>	<p>郵便はがき 63 □□□□□□ 申込者様氏名 申込者様住所</p> <p>返信【表】</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 申込者氏名 <input checked="" type="checkbox"/> 住所 <input checked="" type="checkbox"/> 電話番号 <input checked="" type="checkbox"/> 参加人数 (2名様まで)</p> <p>往信【裏】</p>
--	--	--	--

インターネットの場合

右記 QR コードまたは HP から
 お申し込みください。

<http://www.ktscri.co.jp/symposium/>



※新型コロナウイルス感染症対策を実施した上で、開催いたします。複数名でお申し込みいただいた場合でも、お席の間隔をあけていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。また、状況に応じて開催を延期または中止する場合がございます。あらかじめご了承ください。

※参加者のご氏名・ご住所・ご連絡先等の個人情報は、今回お申し込み頂きました「鹿児島・佐賀エールプロジェクト」以外に使用することはありません。ただし、新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては、保健所等公共機関へ提供する場合があります。

鹿児島・佐賀エールプロジェクト
 歴史シンポジウム
 近代化を推進した、薩摩と佐賀の先見性

Kagoshima Citizen's Day

7月14日は
県民の日

ふるさとを愛する心を育み、
 自信と誇りにあふれる、
 より豊かな鹿児島について
 考える日です。